



ジョージ・キンブレレルさん
米国食品安全センター・弁護士

日時 11月21日(土)

10:30~16:00 開場 10:00

場所 **東京国際交流館 プラザ平成国際交流会議場**

最寄り駅 ゆりかもめ「船の科学館」東出口 別紙アクセスマップを参照ください

参加費 1,000円

講師変更のお知らせ 講演予定だったアンドリュウ・キンブレレルさんは、現在、米国上院で議論されている DARK 法案(別名モンサント保護法案)が否決されるかどうかの山場を迎えており、議会対策に専念するため、米国よりビデオメッセージにて出演になります。代わって、ジョージ・キンブレレルさんが来日されます。コネチカット、バーモント州等の州法の起草、また、ワシントン、オレゴン等の住民投票の法案を起草、FDA(米国食品医薬品局)に提出した請願も起草されています。

国際シンポジウム 2015

「消費者が選べる遺伝子組み換え食品表示をめざして」

第1部では、米国における遺伝子組み換え食品表示法成立に至った経緯と課題。韓国におけるより厳格な食品表示基準の改正に至った背景、韓米FTAにより遺伝子組み換え食品表示にどのような影響を及ぼしたか等について海外ゲストより報告していただきます。第2部では、日本の食品表示の問題点を明らかにし、消費者が選べる食品表示をめざして、わたしたちにできることを提案します。

ぜひ、ご参加ください。

イ・ジェウクさん



プログラム 同時通訳あり

10:30 第1部: 遺伝子組み換えの表示をめぐる海外の状況

- はじめに 「日本の食品表示法の問題点」
神山美智子/食品表示を考える市民ネットワーク代表、弁護士
- 米国 バーモント州 GM 表示法のゆくえ、遺伝子組み換え食品流通の現状
ジョージ・キンブレレルさん/米国食品安全センター・上級弁護士
- 韓国 韓米FTAによるGM表示の影響、国産農産物を食べる運動と実践事例
イ・ジェウクさん/韓国 GMO 反対生命運動連帯執行委員長、農漁村社会研究所所長

アンドリュウ・キンブレレルさん、
ソン・ギホさんより
ビデオメッセージあり

13:00 昼食休憩

14:00 第2部: さよなら遺伝子組み換え食品 生産者と消費者が力をあわせて

- 問題提起 日本の食品表示法(GM表示)の状況、グローバルな食品流通の中で問われる日本の食品表示
西分千秋/食品表示を考える市民ネットワーク事務局長・たねと食とひと@フォーラム共同代表
- パネルディスカッション「生産者と消費者をつなぎ、知り・選べる食品表示をめざして」
コーディネーター 岡本よりたかさん/自然栽培農家・空水バイオファーム八ヶ岳
パネリスト ジョージ・キンブレレルさん、イ・ジェウクさん、上野しのぶさん(生活クラブ山梨理事長)
- 行動提案 西分千秋
- おわりに 山浦康明/食品表示を考える市民ネットワーク副代表

※要申込み
席が埋まり次第、
申込みを締め切ら
せていただきます。

16:00 閉会

■共催 食品表示を考える市民ネットワーク/たねと食とひと@フォーラム/生活クラブ事業連合生活協同組合連合会/グリーンコープ共同体/パルシステム生活協同組合連合会/市民セクター政策機構/生活クラブ親生会/戸川雅子
■協賛 米香房 Gratiass/生活協同組合パルシステム東京/ルナ・オーガニック・インスティテュート/オルター・トレード・ジャパン/主婦連合会/家庭栄養研究会/APLA/ふろむあーすカフェ・オハナ/カフェスロー/矢ノ目靴屋/松本清/食の安全・監視市民委員会/東京都地域消費者団体連絡会/ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン/大地を守る会/福井鉄/一般社団法人ワーカーズ・コレクティブふるぼの工房/ワーカーズ・コレクティブ及び非営利・協同支援センター/大塚恵美子/広報貴族・木下拓己/大河原まさ子/農民運動全国連合会/一般社団法人農民連食品分析センター/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合

この企画は独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。



申込み先: たねと食とひと@フォーラム

Tel 03-6869-7206 Fax 03-6869-7204 Email: info@nongmseed.jp